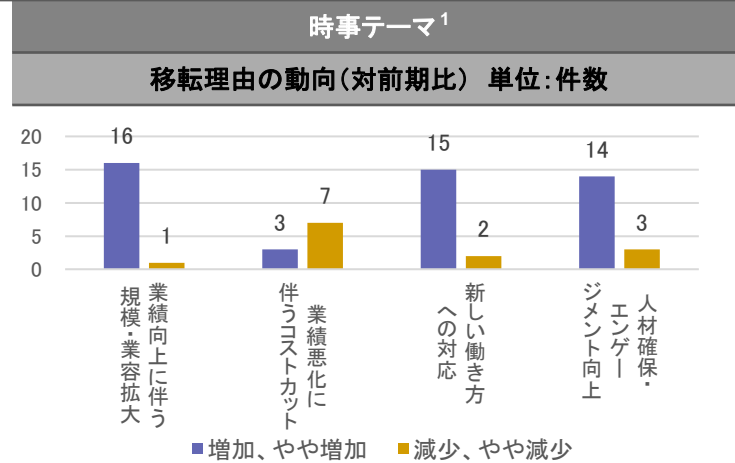


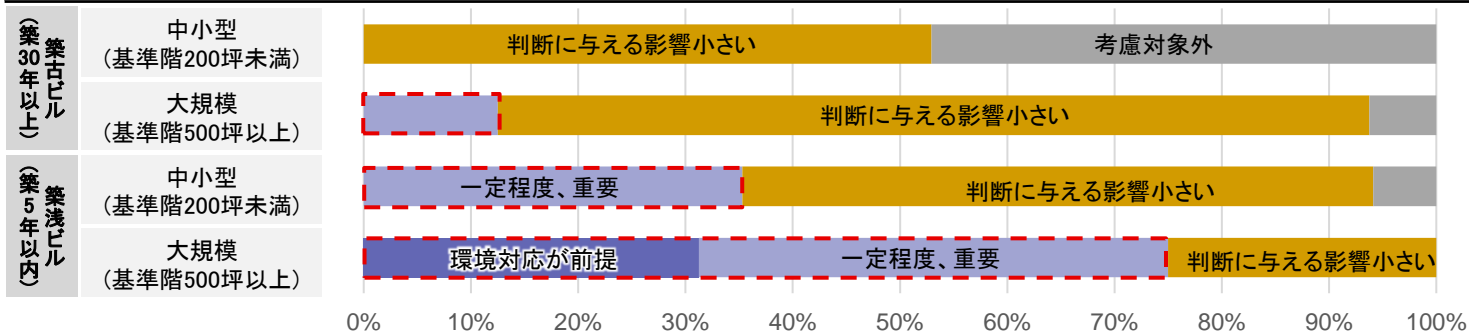
【大阪】オフィス賃貸市場の概要(2024年2月～3月調査)

マーケット総括

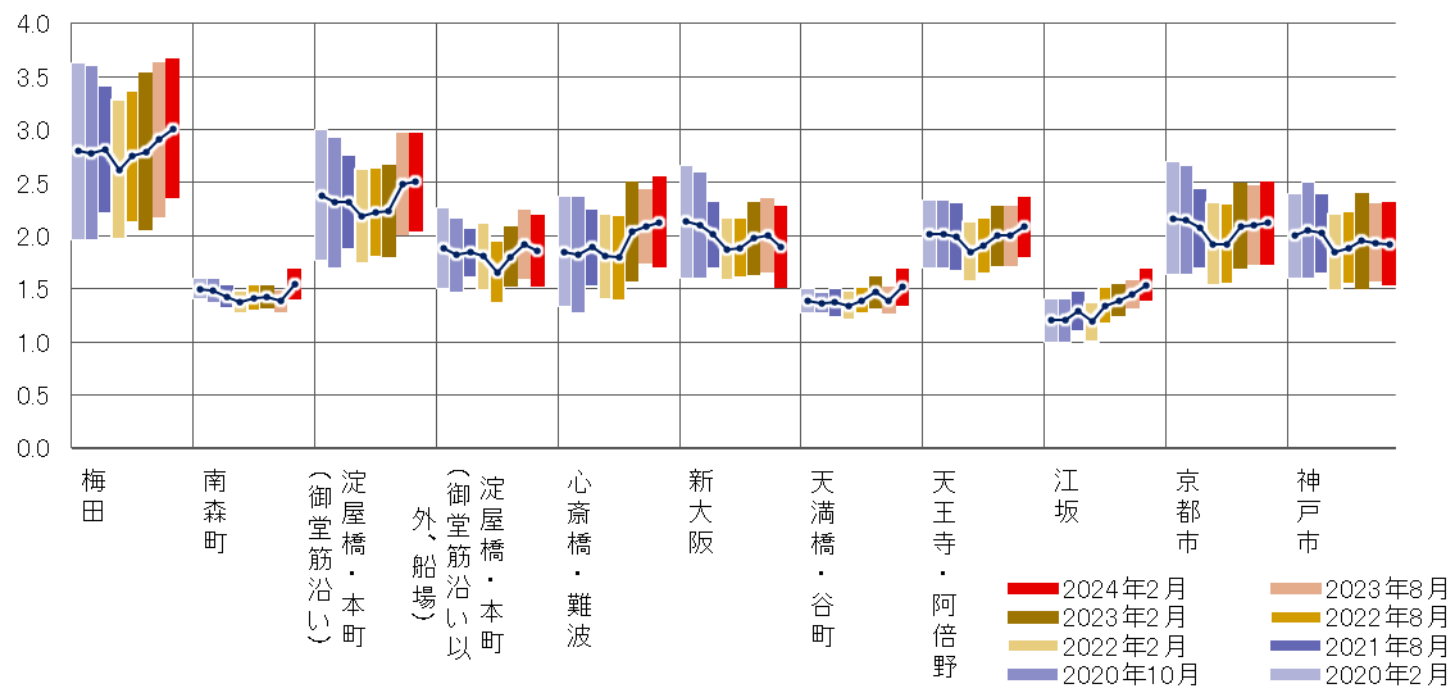
- 一定規模の供給があった中で、新規賃借、拡張移転の動きは活発であり、空室は減少傾向。賃貸市況はコロナ禍の影響からは脱したものと見える。
- 人材確保のための立地改善やイメージ向上を目的とした移転は、梅田、淀屋橋のS・Aクラスオフィスを中心に活発化。今回調査において、梅田、淀屋橋(御堂筋沿い)の成約賃料は4期連続で上昇。
- 一方で、竣工前の予定物件に対する動きは依然として鈍い傾向にあり、うめきた2期や淀屋橋再開発の影響が、今後注視される。



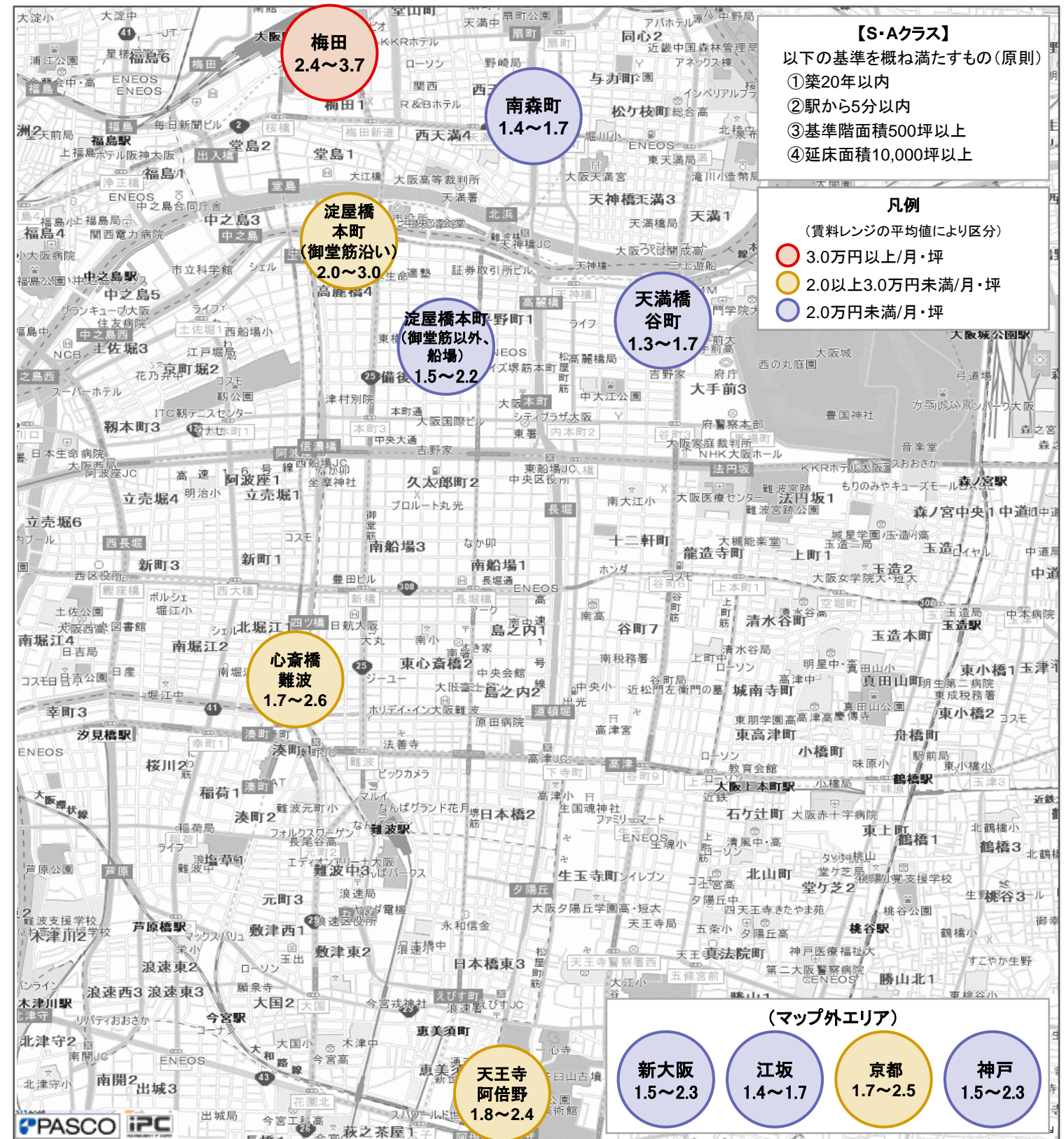
想定テナント層のカーボンニュートラルに対する態度(規模・築年別)



S・Aクラス成約賃料レンジの時系列比較(万円/坪)



エリア別S・Aクラス成約賃料レンジ(共益費込)



(注)1. 時事テーマについては、東京・大阪・名古屋計27社の回答を集約

本資料は執筆者個人の見解に基づくものであり、弊社としての統一見解を公式に表明するものではありません。本資料に記載している見解等は本資料作成時における見解等であり、経済環境の変化や相場変動、税制等の変更によって予告なしに内容が変更されることがあります。また、記載されている推計計算の結果等につきましては、前提条件の設定方法によりその結果等が異なる場合がありますので、充分ご注意ください。本資料は、当社が公に入手可能な情報に基づき作成したものです。その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。施策の実行にあたっては、実際の会計処理・税務処理等につき、お客さま顧問会計士・税理士等に確認くださいますようお願い申し上げます。本資料の分析結果・シミュレーション等を利用したことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。また、本資料は、特定の有価証券の価値等に関する助言又は金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関する助言を目的とするものではありません。本資料の著作権は三菱UFJ信託銀行株式会社に属します。従いまして、本資料のお取扱いはお客さま限りにてお願い申し上げます。

世界が進むチカラになる。

